

Optional / Variation (特注品)



分解洗浄型 ルート熱交換器



RSTW
(チタン・Washable)

■ 汚れの付着、圧力損失が少ない

バツフルプレートを設けた器内を流れる流体が乱流となり、水アカや汚れが付着しにくい構造です。このことは圧力損失の増大抑制にも有効に働き、ポンプへの負荷を軽減しています。

■ 汚れたら洗える → 初期性能を維持

汚れが溜まって伝熱性能が低下した場合にはチューブ部分を本体から取り外し、高圧洗浄機などで洗えます。これによって新品時に近い性能を取り戻すことが可能です。(* 下図参照)

■ メンテナンス = 簡単・安価・安全

一般的なフランジ締結で取り外し箇所も少なく、メンテナンスが簡単です。専用工具の必要もありません。パッキンも市販のシートパッキンで良いため安価です。組み付けも容易なため、合わせ不良による液漏れを起こしにくく安全です。

■ メンテナンス = 予防的運用

洗浄によって腐食要因を早期に取り除けるメリットだけではなく、定期メンテナンスで伝熱管の状態を目視確認することは、異常の早期発見にもつながり、トラブルや操業への影響を予防します。伝熱管パンク時の補修対応もよりスムーズになりました。

■ 選べる材質

通常のルート熱交換器同様、多様な液種に対応します。

Doing more with less



分解洗浄型

通常型

ルート熱交換器

DATA

* 汚れによる性能低下～洗浄での回復 *

新品時の性能を 100%・昇温時間 60分 とします。2年間使用し、汚れ付着によってそれぞれ以下のように性能低下があった場合の洗浄による回復度を試算しました。

	性能(低下時)	昇温時間	洗浄!	回復後
水	85%	71分	→	63分
液A	70%	85分		67分
液B	50%	120分		71分

* 数値は計算値です。実際の操業下では諸条件によって前後する場合がございます。

NOTE

* 通常のルート熱交換器との相違点 *

- ◇ 伝熱管内には蒸気が通ります。
- ◇ 伝熱管とシェルの間をめっき液が通ります。
- ◇ 伝熱管はF管ではなくO管仕様となります。
- ◇ ラインナップは加熱用のみです。
(2010年3月現在)

詳細に関しましては弊社営業部までお問い合わせください。条件に合わせてご相談承ります。

